

有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名	
減築による地域性を継承した住宅・住環境の整備に関する研究	
2. 有識者意見の概要及び対応	
有識者：東京大学 大学院工学系研究科 教授 平手小太郎 氏	
意見の概要	意見に対する対応
「まず減築ありき」ではなく、まちづくりの将来像を実現するために減築という手法を活用するという考え方が前提となるべきであり、これに留意して成果をとりまとめられたい。	ご意見をふまえ報告書のとりまとめを行った。
<p>まとめとしての現在の内容は網羅的に整理されており良いが、上記とも関連して、住宅・住環境整備手法としての減築の位置づけとして、下記のような内容をまとめの冒頭部に記載すべきと考える。</p> <p>①減築はまちづくりのメニューの1つとみることができる。 ②減築は増築などとセットで考えることもできる。 ③減築を十分に検討することは、増築，再開発，まちづくりをスムーズに進めるための方策になる。 ④減築を複合的に位置づけることで、より効果的な意味を持たせることができる。</p>	とりまとめの前提として、「減築の位置づけ」として、第6章の冒頭で減築の特長、減築が効果的と思われる局面を示したうえで、減築はまちづくりのメニューの1つとみることができること、周辺環境の状況によっては減築が効果的な手法として期待できること等を整理した。
全体としては、従来はややあいまいであった減築の意義や位置づけを明確にした研究で、今後の住宅・住環境の整備にとって有益な知見を有していると考えられる。	